

TARGETの教育力深掘りシリーズ

教育人材

INSIDE TARGET
別刊

Jan. 2026

1

10年以上の実績、6,000人以上を育てた実績

No.
1

厳選された講師たち

- 講師が備える3つのポイント
- 厳選されたプロフェッショナル講師
- 採用後も続く高頻度のトレーニング

オンラインで承り※

体験レッスン
学習相談

TARGET

No.
2

日本人の教育専門家の存在

- 海外ながら日本人に最適な英語教育を実現するスペシャリスト
- チーム全体を統括する監督による一貫性のある教育
- 科学的に基づく英語学習

特集
Special

今話題 科学に基づく英語学習

第二言語習得論が導く
正しい学び方とは何か？



The 3 Key Qualities of Our Teachers.

TARGETの講師が備える 3つのポイント

語学留学における英語学習の成果は、指導する講師の技量によって大きく左右されます。英語講師は英語力が高ければ務まるような仕事ではありません。TARGETでは「英語力」はもちろんこと「教授技術」「人間性」の3つの要素を講師が身につけることを徹底しています。

これらが組み合わさることで、学生のモチベーションと成長を最大限に引き出すことができます。



講師に必要な 3つのポイントを詳しく



確かな英語力

Strong English skills

正社員はTOEIC 900以上

講師にとっての英語力は、ただ話せるではなく、正しい英語知識を理解し、その運用が正しくできるかが重要です。その能力を有する客観的指標としてTOEIC 900以上のスコアを取得することが求められます。

発音に秀でている

発音は個々の能力による部分も大きいので、その実践が求められる講師にとって発音が良いことは大前提となります。さらに発音を教えるためには感覚ではなく、発声方法を理論的に理解していることが重要です。



確かな教授技術

Effective teaching skills

体系立てられた一貫性ある授業

学生が置かれた現状と目標から計算し、各トレーニング要素を適切な順序と難易度で実施しなければなりません。行き当たりばったりではなく、日々のレッスンが有機的に繋がることで無駄なく学べるようにします。

教材の熟知と理解しやすい指導

厳選された教材の構成、狙いを正しく理解し、レッスンではよどみなく、さらに分かりやすく教えることができるまで習熟していなければなりません。そのため、事前準備は欠かすことができません。



講師向きのキャラクター

A personality for teaching

学習者を理解した丁寧な指導

学生の理解度や苦手意識を把握し、適切な難易度でのレッスンを行う“足場かけ”が重要です。さらに英語学習で起こりがちな間違いを恐れるメンタルに寄り添い、積極的な発話を引き出す辛抱強さと話術が必要です。

講師らしい態度や人間性

プロの講師としてふさわしい規律意識や態度、発言ができることが求められ、さらに学生がリラックスして授業と向き合い、さらにモチベーションを引き出すことができる人間性であることが望まれます。

c. Past
8. They've cut our budget
travelling to London.
a. Infinitive (V₁)
b. Simple past (V₂)
c. Principle (V₃)

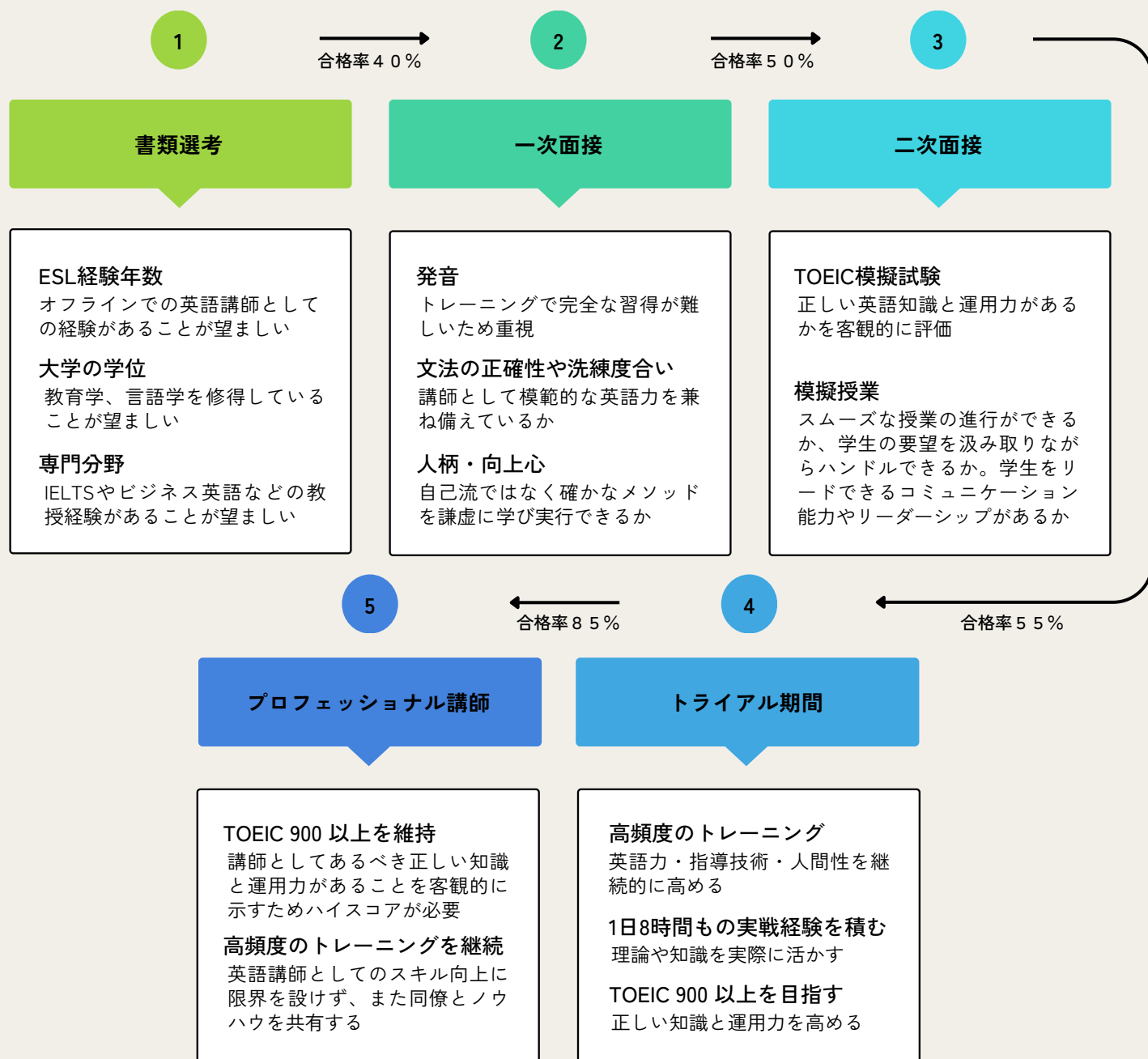
Carefully Selected Professional Teachers

合格率たったの9%！ 厳選されたプロフェッショナル講師

確かな教育力には優秀な講師を獲得することが必要不可欠です。そのため厳しい採用基準を設定。さらに業界でも最高頻度となるトレーニングを実施し教授技術を研鑽しています。プロフェッショナル講師になるための合格率はたったの9%と、厳選された講師たちが学生の英語力を引き上げます。



プロフェッショナル講師になるまでのステップ



Continuous Professional Growth

採用後も続くトレーニングが 講師への満足度97%を叩き出す

採用後も講師の研鑽は続きます。緻密に作り上げられたトレーニングと実戦経験を高頻度で重ねることで、講師に不可欠な「英語力」「指導技術」「人間性」の3要素を磨き上げます。卒業生の多くが、満足した点として真っ先に「講師」を挙げるのは、その成果です。



業界最多
週3回

参加講師
100%

高頻度 × 高参加率のトレーニングで何を身につけるか

教材・メソッドの熟知

使用する教材の構成や扱われるトピックやメソッドの体系を深く理解し、分かりやすい教え方、また学生の様々な質問に対応できるよう深く知識を身につけます。

音声・映像教材の活用

より分かりやすく、興味深いレッスンとなるよう最新の音声・映像教材を採用。それらをスムーズに運用してよどみなくレッスンを進める技術を身につけます。

発音の理解と実践

見本となる発音ができるだけでなく、音声変化や発音記号に対する見識を深め、理論的に教えられるようにします。さらに学生に実践させる指導力も身につけます。

授業のハンドリング

学生のレベルや理解度、ニーズに合わせた進捗ペースの設定や、画一的ではなく様々な学生に柔軟に対応しつつ、しっかり学びを生み出せるハンドリングスキルを身につけます。

学習者への深い理解

第二言語の学習者にとって英語学習がどのような過程を経て進んでいくのかを理論的に理解し、焦らず丁寧に、かつ適切な体系で現実的に指導できるようにする。

講師としてあるべき態度

文化が異なる学生からでも講師として尊敬される振る舞いやマナー、そして学生のモチベーションを引き上げるチアアップ、初学者にも辛抱強くよりよい姿勢を身につけます。

オンラインで講師のチカラを体験してみよう

入学を決める前にTARGETのプロフェッショナル講師のレッスンを試してみたい方に、オンライン体験レッスンを用意しています。ご希望の方はお問い合わせの代理店までご相談ください。



Global Learning, Tailored for Japan

海外ながら日本人に最適な英語教育を実現する

海外の語学学校では大変珍しい日本人の英語教育の専門家が在籍。

この存在こそがあなたの英語学習の最短ルートで設計するスペシャリストです。



アカデミック責任者
片山 弓太郎

日本国内外の複数の英語教育機関で、講師、プログラム作成、講師のトレーナーを歴任。TARGETでは大学時代より造詣を深める第二言語習得論に基づいた科学的アプローチによるカリキュラム作成や講師トレーニングを統括し、さらに学生に学習カウンセリングを行う。1984年生、早稲田大学卒。

- 大手英語コーチングスクール、外国語専門学校にて教鞭
- TOEIC専門スクールにて主任講師として教鞭
- 国内外の英語学校に対する教育コンサルティング、カリキュラムや教材の制作、講師のトレーニング
- 日本人へのコーチングトレーナー

チーム全体を統括する監督 だから一貫性のある教育を施せる

第二言語習得論にもとづいた プログラムの作成

科学的な第二言語習得論（人間が言葉を身につける仕組み）に基づいて、最も効率よく、また興味を失わないように英語を上達させる教育プログラムとなるよう方針を決定します。カリキュラム、メソッド、教材、そして講師の教授技術すべてが有機的に関連しあい効果を出せるようにデザインしていきます。

教材の選定・開発

学習コンテンツの質を担保し、教育プログラムを成功に導くため、最新の教育動向を反映した教材の「選定」「オリジナル開発」「講師への導入研修」「効果測定と改訂」を行います。

講師トレーニング

目指すべき講師像・スキルを見定め、必要なトレーニングプログラムを策定します。特に日本人の英語の癖、発音の癖、学習者の傾向とその対策を伝え、日本人への理解と対応力の強化に力を入れています。

学習ガイダンス

新入生に英語力を最短で伸ばすために入学時点で知っておくべきことを徹底解説。単語の学習法などの勉強法、英語が伸びる基本原則、日本人ならではの発音改善方法など、この日から勉強の仕方が大きく変わります。

個別カウンセリング

留学中に生じる勉強の悩みに個別に相談いただけます。授業での悩み、学習方針、勉強方法、モチベーションの低下など、困ったときにはいつでも声をかけてください。

第二言語習得論が導く正しい学び方とは何か？

TARGETでは単なる暗記や反復練習に頼る教育ではなく、第二言語習得論 (SLA : Second Language Acquisition) の最新研究に基づいた教育を行っています。SLAとは何か？少し紹介しましょう。

これまでの英語教育がなぜ成果を出せないか

「単語帳を暗記し、難しい文法を解き、何年も英語を勉強してきたのに、いざとなると言葉が出てこない……」そんな経験はありませんか？実は、それはあなたの努力不足でも才能のせいでもありません。単に“脳の仕組み”に合わない非効率な学習法を続けていただけなのです。

日本の英語教育で主流だった「訳読 (日本語に訳す)」や「文法の丸暗記」は、実は「英語を研究する」ための方法であり、「英語を話す」ための方法ではありません。

さらに、「子供が言葉を覚えるように英語のシャワーを浴び続ければよい」「単語の意味さえ覚えれば、あとは文法に当てはめるだけで話せる」「とにかく話せば話せるようになる」といった学習法は誰もが一度は聞いたことがあるでしょう。

これらも残念ながら効率的な学習法とは言えません。その理由はどれも「科学的ではない方法」だからなのです。

英語学習を科学する SLAとは何か？

第二言語習得論 (SLA) とは、人間が母国語以外の言語をどのように身につけるのかを解明した学問です。単なる“勉強法”ではなく、心理学、言語学、音声学、脳科学、行動科学などの視点から、どうすれば効率的に言語を習得できるかを研究しています。

いわば「言語習得の最短ルートを示した地図」。この理論に基づけば「いつ、何を、どの順番でやるべきか」が明確になり、根性論ではない、科学的で再現性のある英語学習が可能になります。

今どき、病気をおまじないや根性論で治そうとする人はいません。医学という科学的な根拠にもとづいた治療を行うのは当然です。それと同じく英語学

習においても科学的に効果がある学習法は分かっています。

なぜ英語が出てこない？

SLAの基礎として最も有名で、学習のあり方を大きく変えたスティーブン・クラッシュェンの理論から、英語が話せない学習となる理由をいくつか紹介しましょう。

学習と習得の混同

文法を意識的にみにつけようとする“学習”ばかりに偏り、無意識に発話できる状態になる“習得”のプロセスが無視されている。また過剰な文法修正がスムーズに話すことを邪魔する。

インプットの質と量

自分のレベルよりも少しだけ高い難易度の意味が理解できる英語 “i+1” に触れる量が圧倒的に不足している。

心理的バリア (情意フィルター)

十分なインプットがない中での発話により「間違えたら恥ずかしい」という不安から脳への言語吸収をブロックしている。

言語習得には 3つのステップがある

それでは、科学的に見て効率的な「正しい学び方」とはどのようなプロセスなのでしょうか。基本となるステップを少し紹介します。

Step 1. インプット (理解可能な入力)

英語を“聞く・読む”ことで脳に取り込むことです。ただし、ただ聞き流すだけでは意味がありません。大切なのは「メッセージの内容が理解できる」こと。意味のわからない呪文をいくら聞いても脳は言語として認識しません。文脈や推測を駆使して「あ、こういう意味か！」と理解した瞬間に、脳の言語習得装置が作動し始めます。

Step 2. インテイク (気づき・内在化)

インプットされた情報が、ただの“音”から“自分の一部”に変わる段階です。「この表現、さっきのニュースでも

使われていたな」と特定のルールや単語の使い方に“気づく”ことで、脳内の知識が整理されます。このプロセスを繰り返すことで、バラバラだった知識が「いつでも使える状態」としてストック (内在化) されていきます。

Step 3. アウトプット (自動化)

最後のステップは、実際に“話す・書く”ことです。SLAにおいて、アウトプットの主な役割は「新しいことを覚えること」ではなく、「知識を自動化すること」にあります。最初は頭で考えながらゆっくりとしか話せなくても、繰り返し使うことで、意識しなくても口から言葉が出る“自動化”の状態へ導くことになります。



根性論を卒業し 科学を味方に

「英語ができないのは、自分の頭が悪いからだ」と自分を責める必要はありません。これまで私たちが苦戦してきたのは、単に“脳の取扱説明書”を読まずに操作していただけなのです。

まずは、自分のレベルに合った「理解できる英語」を大量にインプットすることから始める必要があります。そして、完璧主義を捨てて、リラックスした状態で英語に触れる環境を作ること。それが、遠回りに見えて最も効率的な“最短ルート”なのです。

科学という確かな地図を手に、これまでの“苦しい勉強”を“確かな成長”へと変えていきましょう。

The Advantage of On-Site Japanese academic support

日本人の教育専門家がいることが なぜ、メリットなのか？

海外留学ならではの デメリット

多くの留学生が抱きがちな「英語のシャワーを浴びれば英語が話せるようになる」という考え方は科学的・合理的とは言えないことが多いです。

確かに海外留学は「英語を使う機会が多い」ことが最大の魅力ですが、良くも悪くも主体的かつ自分の力で学習する環境になりがちのため、うまく効率的に学べる人とそうでない人に分かれてしまいます。特に勉強そのものに慣れていない、得意ではない人にとって、効率よく英語を学ぶことは大変難しいことです。

海外留学は英語コミュニケーションに頼りすぎるため、「余計に理解が進まない」「どう勉強すればよいか情報が得られない」ということがよく起こります。これは「先生に相談したくても、学生の英語力から適切な質問ができない」「先生から説明を受けてもそもそも理解できない」ためです。特に初心

者にとっては顕著で、正しい勉強ができていないのか、よく分からずに毎日を過ごすことがあるほどです。これは紛れもなく海外留学の最大のデメリットと言えるでしょう。

英語習得までを 母国語でつなぐ

そのデメリットを解決するのが日本人の教育専門家の存在です。「どのように勉強を進めていけばよいか」「正しい勉強法は何か」といった効率的な学習のために知っておくべき道しるべを日本語でアドバイスを受けることができます。

母国語だから「分からないが起こらない」ために、より迷いなく確かな方法で学習を進めていくことができるわけです。英語を学ぶからといって、母国語を排除する考えは極めて非効率で、学習法といった理論的な内容、不安や迷いといった抽象的な感情は、自身が使いこなせる言語で伝え、相談に乗ってもらうことで早期に解決してしまう



方が無駄がありません。

さらに日本人日本人ならではの学習傾向や癖、マインドを熟知していますから、より適切なアドバイスができ、スムーズな英語力向上に導くことが可能なのです。

TARGETの教育サポート



学習ガイダンス
正しい学習法を知る



個別カウンセリング
困ったらすぐ相談

英語力が高い日本人スタッフが いればよいのか？ 同じ語学学校でもサポート体制は異なる

多くの学校にも英語力の高い日本人スタッフが在籍していますが、彼らが必ずしも教育面で最良のサポートを提供できるとは限りません。高い英語力を持つ人の助言は、あくまで個人の成功体験に基づいた主観的なものであることが多く、それが他の人にとっても

効率的で科学的な学習法であるとは限らないからです。

一方、英語教育の専門家は、第二言語習得論などの科学的根拠に基づいた多様な学習法を熟知している点で大きく異なります。

そのため、個々の弱点や特性を見極めた上で、各々のタイプに応じて着実に上達できる方法を提案できる点で、「経験談」と「教育の専門知」には大きな差があることを理解しておきましょう。

	TARGET	主な韓国系学校	他の日系学校
日本人一般スタッフ	在籍 教育面と生活面でサポートする分野が異なり専門性が高い	在籍 生活面のサポートが主 英語教育の専門家ではない	在籍 生活面のサポートが主 英語教育の専門家ではない
日本人の教育専門家	在籍 専門家から日本語でサポートしてもらえる	不在	不在がほとんど

Message

—— アカデミック責任者 片山 弓太郎より

ぜひTARGETで、 あなたの「次の未来」を描いてください。

私は20代になってから本格的に英語学習を始めました。学生時代は勉強事に強い関心があったわけではなく、どちらかといえば不真面目なタイプだったと思います。それでも、英語で世界を広げたい、自分の可能性に挑戦したいという思いだけは強く、まだフィリピン留学が珍しかった時代にセブを訪れることを決意しました。

3ヶ月の留学で最低限のコミュニケーションは取れるようになったものの「何をすれば伸びるのか」「今の努力は本当に正しいのか」という不安と隣り合わせでした。振り返ってみても、あの頃は手探りで必死に学んでいた記憶があります。

その後、縁あってフィリピンの英語学校で働くことになり、様々な留学生から英語学習について相談を受けました。しかし当時の私は、十分な知識もスキルもなく、自分の経験を伝えることに留まってしまう場面が多くありました。その悔しさが、英語力を磨き直し、言語教育を体系的に学ぶ決意へとつながりました。

そこから英語学習理論を学び始め、TOEIC 950点を取得。英語教育への探求は尽きることなく、言語教育を専門的に極めたいという想いから31歳で大学にて学び直すこととし、夜は複数の英語スクールで英語講師として教壇に立つ日々を送りました。その後、複数の企業にアカデミックコンサルタントとして参画し、教材開発、カリキュラム設計、講師育成など、教育現場に広く携わるようになりました。

コロナ禍が明け、留学業界に再び活気が戻り始めた頃、「これまで培ってきた経験をもう一度ルーツであるステージで活かしたい」という思いが強まり、再びフィリピンへ。ここTARGETでアカデミック責任者として、教育プログラムの開発設計に携わっています。

私は、かつて「英語ができなかった」立場からスタートしました。だからこそ、不安や挫折を経験した人の気持ちが、誰よりもよく分かります。

TARGETでは、私自身の経験と学術的バックグラウンドを活かし、初めて学ぶ人も、もう一度挑戦する人も、安心して前に進める学習環境づくりを目指しています。一人ひとりの目標やレベルに合わせたカリキュラム、いつでも相談できるサポート体制、柔軟に調整可能な授業設計。そんな環境の中で、あなたが挑戦し続けられるよう、全力で支えていきます。

ぜひTARGETで、あなたの「次の未来」を描いてください。

学習相談をして入学を決められる

事前に日本人教育スタッフに、留学時の学習から生活面まで相談してから入学を決めることができます。ご希望の方はお問い合わせの代理店までご相談ください。



TARGET GLOBAL ENGLISH ACADEMY

LOT10249 Across Maryville Subd. Tigbao Talamban Cebu city Philippines